

[3] 2022～2023 年度 活動計画

1. 委員会計画

会 長

区 分	委 員	活動方針・実施計画
会 長	矢 越 孝 裕	方 針 今年度のクラブテーマを『過去にとらわれず未来を見据えて行動しよう』とさせていただきます。 過去 2 年間は、暗中模索の活動が続きましたが新たな気付きもありました。今後は過去の教訓を踏まえながら未来を見据えた行動が必要になってくる時だと思います。 まだ予断を許さない状況ですが、出来ることから徐々に始めて行きたいと考えます。 そして、和気あいあいとしたグリーンクラブを取り戻して行きたいです。 実 施 計 画 1. 30 周年記念式典及び記念事業の実施と記念誌の発行 2. 会員数維持及び増強とそれに繋がる親睦活動 3. Zoom ミーティングの更なる充実 4. ホームページのリニューアル更新とフェイスブック更新による外部への発信強化

幹 事

区 分	委 員	活動方針・実施計画
幹 事 副 幹 事	八木美左男 犬飼 久恵	方 針 会長方針のもとクラブ及び会員一人ひとりの活動が 10 年後も「記憶に残る」ものとなりますよう幹事・副幹事の役割を果たし社会奉仕に邁進します。 実 施 計 画 ・クラブが効果的に機能するよう事務伝達を致します。 ・各委員会の活動がスムーズに行くよう努めて参ります。 ・クラブ内の親睦を最優先し、十分配慮して庶務事項を行います。

会 計

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長	原 正 幸	方 針 クラブ全体が笑顔で楽しく円滑に活動できるように会計管理をする。
		実 施 計 画 1、各委員会の活動方針に基づき、予算を的確に分配する。 2、クラブ会計を適切に管理する。

会場監督

区 分	委 員	活動方針・実施計画
会場監督 副会場監督	高 橋 三 叔 福 山 茂 佐 藤 眞 吾 吉田優美子	方 針 クラブテーマである「過去にとらわれず未来を見据えて行動しよう」を踏まえて例会運営に努めてまいります。 全ての会員が参加出来る方法を模索し例会の進行や楽しい雰囲気づくりを目指します。
		実 施 計 画 全ての会員が楽しく参加できる例会づくりに努めます。

【クラブ奉仕】（クラブ管理運営委員会）

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 親睦担当 会報・IT 合唱担当 スマイル担当 出席担当 会員増強 クラブ研修 会員選考 広 報	井 口 学	方 針 クラブがさらに活力あるクラブになるよう、クラブ奉仕各委員会と連携しその活動をサポートしてまいります。 実 施 計 画 1 クラブ奉仕各委員会をサポートする。 2 楽しい例会運営と魅力あるクラブ運営につながるようクラブ奉仕各委員会の活動に協力する。

【クラブ奉仕】 親睦担当

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副委員長 委 員	神 座 磯 男 水谷里枝子 大 澤 重 人 河 田 明 成 北 畠 直 輝 今 井 英 介 恩 田 徹 大八木 聡 川 崎 正 仁 清 水 康 生 高 橋 正 之 森 下 新 一 久 野 新 一 原 正 幸 井 上 誠 士	方 針 矢越会長活動方針のもと、コロナの影響で阻まれた親睦活動を今年度こそ蘇られる一年にしたい。 勿論のこと状況判断はその都度、親睦委員全体の創意をもって行う。 実 施 計 画 ① 家庭集会一場所、人数、特に密集を考慮しブロック毎の企画でコミュニケーションを豊かに行う。 ② クリスマス例会—コロナ状況を踏まえて、複数の計画を考え安全に実行する。 ③ 宿泊例会—30周年事業との絡みを重視、日程的にも中止とする。 ※以上の実施計画と例会の活性化を目指し親睦活動を積極的に行う。

【クラブ奉仕】 会報／IT

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副委員長 委 員	守 屋 護 高 橋 和 也 池 田 健 博 澁 谷 武 男	方 針 1. 週報は報告と記録です。過去を観て新しい活動が出来る礎とする。 2. 会長方針にある「Zoom ミーティング」を会員に周知する 3. カメラ・ビデオ・Zoom 撮影等を円滑にする。 実 施 計 画 1. 毎週のロータリー活動を漏らさずタイムリーに掲載する。 2. 「Zoom ミーティング」「YouTube」の説明を行い会員に活用して頂く。 3. 会長の意向により、カメラ・ビデオ・Zoom 撮影等を家庭集会グループが行うので、作業が円滑に進むよう補佐する。

【クラブ奉仕】 プログラム

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副委員長	今 井 睦 大 貫 弘 子 福 山 茂	方 針 会長方針に沿った楽しいプログラムの実施を行う。 実 施 計 画 1, 会長の方針でもある同業種会員による対談方式の卓話を成功させる。 2, 近年の相模原市にとって大きな問題である、リニア関連と返還跡地の問題をテーマに外部卓話をしていただく。

【クラブ奉仕】 合唱担当

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副 委 員 長 委 員	山 本 正 司 小 川 忠 久 高 橋 三 叔 佐 藤 眞 吾	方 針 本年度の合唱委員会は、合唱委員独自の選曲により、楽しい歌心に残る歌、季節感のある歌等を選択し、例会を盛り上げることを活動方針といたします。
		実 施 計 画 上記の活動方針に沿って ア) 年代層に合わせた歌 イ) 誰でもが心に残っている歌 ウ) 季節感にあふれる歌 以上の選曲基準から月別にテーマを決めて合唱曲目を選曲し演奏させていただきます。

【クラブ奉仕】 出席担当

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副 委 員 長	李 爽 吉田優美子 尾 畑 仁 貴	方 針 ロータリー活動のなかで「出席」は大変重きをおいているものです。例会への「出席」とは対面が原則とされてきましたが、ZOOMでの参加も可能となりましたので、それを継続しつつ会員同士をつなげる機会として出席担当が出来ることを考えて実施していきます。
		実 施 計 画 - 出席対象期間が7月から6月のRC年度に全クラブ統一されたことをメンバーに周知しメイクを促す。ただし年度途中での入会者については、対象とはせず次年度からとする。 - 例会ごとの出席報告は行わず、年度末にクラブ内での出席率を発表し、ささやかな表彰式を行う。 - 例会だけでなく、委員会出席や行事への出席をふくめ、当クラブの活動への参加を促していく。

【クラブ奉仕】 スマイル担当

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副 委 員 長 委 員	井上 栄次 久野 新一 金子 英行 村田 崇 小林信二郎	方 針 奉仕団体であるロータリークラブにとって、スマイル収入は奉仕の源です。より良い奉仕を行い充実したクラブ活動をするために皆様に積極的にスマイルをお願いするよう活動していきます。 実 施 計 画 1. コロナ禍で例会が減少しており、例会に依存しないスマイル方法を模索する。 2. 例会に於いては、スマイル委員が積極的にスマイルを啓発する。 3. 目標額を定め、委員会のメンバーに周知する。

【クラブ奉仕】 会員増強

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副 委 員 長	関根 正司 水谷里枝子 山口 正明 長谷川太一	方 針 今年度は会長方針のもと会員維持並びに会員増強に努め、目標である4名増員を目指します。 親睦活動や奉仕活動を通して風通しの良いクラブ環境を整え、クラブ全体で増強ができるような雰囲気づくりを行ってまいります。 実 施 計 画 1. 年間を通して各会員から会員増強に関する情報を集め候補者を募ります。 2. オブザーバーを積極的に募り、例会はもとより家庭集会などにも参加を促し、ロータリーをもっと身近に感じていただく機会を提供して参ります。 3. 既存会員の退会防止にも努め、クラブ全体で増強に関しての意識向上を図って参ります。

【クラブ奉仕】 クラブ研修

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副 委 員 長 委 員	佐 藤 眞 一 犬 飼 久 恵 足 立 正 遠 藤 秀 幸 井 上 誠 士 中 村 昌 治	方 針 会長方針に従い各委員会と連携しロータリーの基本理念や様々な活動について会員に効果的に情報を提供しロータリーに関する理解を深める研修活動を行う。 実 施 計 画 1、各委員会と連携し RI 地区等に関する情報を積極的に収集し会員に伝える。 2、知り合いを深めるため例会時、ロータリーを話題とする手短かなスピーチの実施。 3、新会員に早くクラブに溶け込んで貰うためフォロー担当者を指定する。

【クラブ奉仕】 会員選考

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副 委 員 長 委 員	田 中 紘 昭 齊 藤 紀 美 孝 内 田 茂 一	方 針 入会候補者に対して、当クラブにふさわしい人物であるかどうかを、経歴、人柄、社会的評価等で判断して理事会に報告する。 実 施 計 画 ・ 入会候補者の経歴確認 ・ 紹介者との意見交換 ・ 候補者を知る人の参考意見等

【クラブ奉仕】 広 報（公共イメージ）

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副 委 員 長 委 員	伊 藤 信 吾 野 田 英 樹 小 野 太 郎	方 針 地域の方々に少しでも当クラブの活動やロータリークラブを知っていただけるような広報活動を行います。 実 施 計 画 1、情報発信ツールとして既存メディアのほか、SNSのさらなる活用を検討します。 2、HPをリニューアルし、親しみやすくわかりやすいものにし、また、今後の更新が容易になるようにいたします。

【4大奉仕】 奉仕プロジェクト

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長	佐 藤 眞 吾	方 針 各委員会が計画した奉仕活動の実現に向け尽力する。 実 施 計 画 1) 各奉仕委員会との間で意志疎通を図る。 2) 各奉仕活動の推進状況に関心を寄せる。 3) 各奉仕活動の相互連携の可能性についても模索する。

【4大奉仕】 社会奉仕

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副委員長 委 員	村 田 崇 川 崎 正 仁 犬 飼 久 恵 遠 藤 秀 幸 関 根 正 司 佐 藤 眞 一 伊 藤 信 吾 清 水 康 生 久 野 新 一	方 針 クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、当クラブ会員が行う様々な取り組みを考えたいと思う。 委員の皆様と意見交換し、会員相互の親睦を深めながら、今年度の会長方針にもあるように、「過去にとらわれず未来を見据えて行動しよう」を実践します。 実 施 計 画 1. 障作連と共同開発したお菓子「さがみはらのふふふん」を30周年記念会場で販売する。 2. 境川クリーンアップ作戦に継続参加。 3. ロータリークラブの社会奉仕活動のPRを兼ねて、地域との連携を深めたい。

【4大奉仕】 職業奉仕

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副委員長 委 員	澁 谷 武 男 大 澤 重 人 小林信二郎 李 爽 高 橋 正 之 中 村 昌 治 足 立 正	方 針 「ロータリーの綱領」にあります様に、自ら奉仕を奨励し、推奨していく事にあると思いますので、これを踏まえ、職業をとうして社会に貢献しながら、スキルを地域社会の中で図って行ければ良いのではないかと考えます。 実 施 計 画 1. 会長方針に則り、事業推進を図る。 2. 創立30周年に向って、積極的に参加をして行く。 3. 職業人としての奉仕活動の発表の場を企画予定。

【4大奉仕】 国際奉仕

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副委員長 委 員	井上 誠 士 恩 田 徹 山 口 正 明 齊藤紀美孝 福 山 茂	方 針 会長のテーマ『過去にとらわれず未来を見据え行動しよう』とあるように、自由な発想で、国際奉仕に取り組む考えをもって行動していきたいです。 しかしながら、コロナ禍の状況はまだ続き自由な渡航や交流ができない状況です。 委員会メンバーと考え、クラブ全体で行動できるよう努めてまいります。 実 施 計 画 1、ネパール支援を引き続き行って参ります。 2、自由な発想で国際奉仕を考え、クラブ全体で行動できる事業を検討します。

【4大奉仕】 新世代奉仕・青少年交換支援

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副委員長 委 員	金子 英 行 池 田 健 博 高 橋 和 也 田 中 紘 昭 小 野 太 郎 原 正 幸 小 野 太 郎 水谷里枝子 内 田 茂 一	方 針 コロナ禍や世界経済が戦争により、混沌としている中でのロータリー活動になりますが、青少年の成長発達を止めることができません。青少年にとってこの時期に経験できることを何か一つでも経験させてあげたいと思い、ロータリークラブが支援できることを探し、クラブとしてバックアップ出来ることを方針といたします。 実 施 計 画 1、交換留学生が行き来できる体制が整った場合は全力で支援したい。 2、弥栄高校インターアクト部への協力。 3、青少年奉仕事業への支援。

【4大奉仕】 インターアクト

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副 委 員 長 委 員	野 田 英 樹 吉田優美子 井 口 学 守 屋 護 今 井 睦 井 上 栄 次 大 貫 弘 子	方 針 これまで継続してきた弥栄高校インターアクトクラブに対し、2019年度に実施された弥栄高校での年次大会から、コロナ禍で途切れてしまっていた年次大会のバトンを今年度の年次大会担当校とクラブにきちんと繋げる。 実 施 計 画 1 インターアクト部の活動とあり方について理解し、奉仕の心を学び、共に成長する機会とする。 2 インターアクト部の活動を会員に発信し、行事に参加していただけるよう活動する。

【4大奉仕】 宇宙少年団支援

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副 委 員 長 委 員	北 畠 直 輝 大八木 聡 恩 田 徹 山 本 正 司	方 針 会長方針に基づき、宇宙少年団相模原分団(YAC)がこれまでと変わらず次世代を担うこどもたちに宇宙及び科学に関する教育実践活動ができるように、さまざまな形で支援を行う。 実 施 計 画 1, YAC の活動報告を卓話でお話いただく。 2, 当クラブ 30 周年記念事業として、相模原分団の 20 周年記念も兼ねた宇宙飛行士による講演会を杜のホールで実施し団員の皆さんにも参加してもらう。

【ロータリー財団】

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副 委 員 長 委 員	河 田 明 成 清 水 康 生 神 座 磯 男 高 橋 三 叔 森 下 新 一	方 針 ロータリー財団の基礎的な知識が得られるよう、卓話を実施する。 また、無理のない範囲で財団への寄付を会員へお願いする。 実 施 計 画 卓話を実施する。内容はポールハリスフェロー・ベネファクター・メジャードナー等、いくら寄付をすればその称号が得られて、その称号の意味は何なのか、この2点に絞って卓話する。

【米山奨学】

区 分	委 員	活動方針・実施計画
委 員 長 副 委 員 長 委 員	小 川 忠 久 今 井 英 介 長谷川太一 尾 畑 仁 貴 李 爽	方 針 ロータリー米山記念奨学会は日本独自の奨学事業を行い、60年以上に亘り、幾多の前途有為な在日留学生に勉学機会を与えて来ました。 その目的は、日本と世界の架け橋となる人材を育てることですが、様々な問題が世界的規模で生ずる昨今、その存在意義は高まっています。 このような認識を多くの会員の皆さんと、共有したいと思います。 実 施 計 画 ・2022～23年奨学生 傅 嘉慧（フウジアフェイ）さんの「世話クラブ」として支援。 ・本奨学事業が多くのロータリアンの善意と寄附により支えられていることの理解を頂き、多くの支援をお願いする。